



議会だより



町花 山ゆり

SHIROSATO



- 第3回 定例会報告 2P
- 平成20年度 決算 6P
- 一般質問 (Q & A) 9P
- 研修報告 18P
- 議会の動向・編集後記等 20P

第3回 定例会報告

定例会は、9月8日から18日までの11日間の会期で開催され、条例関係1件、補正予算関係9件、工事契約関係2件、決算認定9件、人事関係1件の議案を審議し、国民健康保険特別会計補正予算の否決のほかは、すべて原案どおり可決・承認されました。また、請願3件、報告5件がありました。

条 例

▽国民健康保険条例の一部を改正する条例について

平成21年10月～平成23年3月までの間、出産育児一時金が35万円から39万円に引き上げられました。

平成21年度補正予算

別表のとおり7件の補正予算が可決されました。表1（次頁参照）

また、今回提出のあった国民健康保険特別会計補正予算については、質疑、討

請 願

▽教育予算の拡充を求める請願

子どもたちが、受ける「教育水準」に格差があつてはならないことから採択とし、各関係大臣に意見書を送付することに決定いたしました。

▽上入野地区農業集落排水の管路延長と処理能力向上に関する請願書

今後の地区の人口、接続状況の推移を慎重にみていく必要があるとし、閉会中の継続審査となりました。

▽幼稚園・保育園児保護者負担費用軽減に関する請願

負担費用の軽減は、少子化対策の一助でもあるため、採択となりました。

契約の締結

▽工事請負契約の締結について

工事名

21ブロードバンドゼロ地域解消事業工事

契約の金額

7千875万円

契約の相手方

東日本電信電話株式会社

▽工事変更請負契約の締結について

工事名
かつら水処理センター増設工事
変更理由
工事現場で混合廃棄物（農業用ビニール）が出現したことによる処分費増となったため

変更請負金額

1億86,585千円

変更による増額

11,235千円

人事関係

▽政治倫理審査会委員の選任につき同意を求めることについて

任期満了に伴い、次の方の選任に同意いたしました。
阿久津正晴（水戸市）
川原井勝一（水戸市）
所 洋 治（石 塚）
阿久津理子（小 勝）
富永 信一（磯 野）
小田部晴美（下阿野沢）
（敬称略）
任期 平成21年9月8日から2年間



（粟地内）

審議した議案と各議員の賛否（第3回定例会）

○は賛成、×は反対、－は欠席

議案名	議員名											議長の採決に 加わっていない							
	河原井大介	関誠一郎	寺門博志	阿久津則男	桐原健一	飯村吉伊	小林祥宏	玉川台俊	南條治	杉山清	寺田和郎		三村由利子	小松崎三夫	鯉淵秀雄	根本正典	阿久津尚一	小坪孝	小林宏
国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事変更請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険補正予算	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○
老人保健補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道事業補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
政治倫理審査会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20年度一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
老人保健決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道事業決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1 平成21年度補正予算関係

会計別	補正額	補正後の額	今回補正の主なもの
一般会計	7億6,684万8千円	96億7,168万9千円	地方特例交付金・地方交付税・国庫支出金・繰入金・繰越金等の追加
老人保健	351万3千円	975万9千円	支払基金交付金・国庫支出金・繰越金の追加
後期高齢者医療	94万2千円	1億9,527万9千円	繰越金の追加
介護保険 保険事業	3,248万8千円	13億9,506万円	国庫支出金・支払基金交付金・県支出金・財産収入・繰入金及び繰越金の追加
公共下水道事業	3,123万3千円	11億8,733万7千円	分担金及び負担金・繰越金・町債の追加
農業集落排水事業	2,009万8千円	7億9,221万4千円	繰入金・繰越金・諸収入の追加
水道事業	収益的収入	△ 1,550万円	受託工事収益の減額
	資本的収入	8,550万円	国庫補助金・一般会計補助金及び一般会計負担金の追加
	資本的支出	9,850万円	配水管布設費の追加

討 論

(平成21年度国民健康保険 特別会計補正予算について)

定例会に上程された議案の中から、
討論が繰り広げられたものを要約して
お知らせします。

反対討論

9番 南 條 治 議員

去る、8月26日に開催されました国民健康保険運営協議
会で説明されました診療所建設予定地が、同一敷地内とは
いえ、10日もたたないうちに福祉センター中央前の駐車場
に場所を変更してしまつた上、国保運営協議会に対し何ら
変更の説明がないことに大きな憤りを感じます。また、そ
の計画の乏しさに落胆した次第であります。国保運営を冒
瀆するものと私は考えております。この事業については、
地域住民の声を聞き、慎重に検討すべきと考えている。

賛成討論

8番 玉 川 台 俊 議員

議案は事業勘定と施設勘定の補正で、事業勘定補正の4
130万3千円は保険給付費で医療機関に支払うものであ
り、施設勘定補正の6,993万2千円は七会診療所改築の
整備費であります。賛成の理由は、補正が可決されない
と支払いが滞り関係機関に迷惑をかけること。また、七会診
療所は地域医療福祉の拠点であるが、施設は老朽化が進み
耐用年数をゆうに越える施設で、診療所へは急勾配の坂道
があり、駐車場も手狭で何かと不便でありながら財源がな
く改築できなかったが、今回の地域活性化・経済危機対策臨
時交付金の活用で改築の計画が出来たもので、交付金は今
回限りで、将来に改築となれば町独自の福祉に使われる基
金の取り崩しが考えられ今回の交付金の活用は町財政の面
から見ても重要なことである。「改築場所の変更が問題だ」
という意見もあるが、同じ保健センター内であり、よりベ
ストな場所では問題があるとは思わない。設計から施工
まで町内業者の技術ででき、多くの業者が関われるため改
築費用約7500万が疲弊した町経済の潤滑油になること
も期待でき、診療所を利用する患者の利便性を図ることや
働く職員の士気高揚を図る意味でも改築が望まれ議案に賛
成するものである

反対討論

12番 三村 由利子 議員

平成16年2月27日の第9回目の合併協議会で、協議決定されたように、国保診療所は現行のとおりとし、さらに運営の健全化を努めるという方針があることと、高齢化が加速する七会地区において、地域医療の唯一の機関である診療所は、身近な医療機関として、その役割を長年にわたり担ってきた経緯があります。したがって、診療所体制は維持するべきと私は認識いたしております。ただ、今回にわかに診療所新築のための予算が上程され、国からの地域活性化・経済危機対策臨時交付金を財源とすることはいえ、この計画が余りにも唐突で、慎重さを欠いているところがあります。

診療所建設検討委員会も開催された様子はなく、計画において建設用地配置計画、それから基本設計等も何ら詳細に示されていない上、約20数年前の沢山診療所を参考にし、建設費の概算の提示をしていることが理解できないところでもあります。そのほかにも、現在診療所で使用している医療機器各種、設備等の移設費用等も、この補正予算には加算されていない事実があります。町直営の診療所ですから、現在の七会の保健センター施設の中に同居させる、保健と医療を一体化した運営の方法も検討の一つとして考えられ

なかったのかと、私は思います。いずれにしろ、これから十分な協議検討がされるべきと考えております。



(建設予定地の七会保健福祉センター)



(現在の七会診療所)



(決算特別委員長報告の様子)

定例会初日の9月8日、町長より提案された平成20年度城里町決算について、詳細に審査するため、決算特別委員会を設置し、9会計の決算審議を行いました。

関係課長、補佐の出席を求め、審査し、本会議において、委員長報告のとおり全会一致で認定しました。

平成20年度決算9会計を認定

決算審査報告書

監査員より、平成20年度各会計歳入歳出等決算について次の意見を付して報告がありました。

財務比率

財政力指数	0.42
経常収支比率(%)	89.7
公債費比率(%)	14.6
起債制限比率(%)	10.5
地方債現在高(千円)	12,411,373

- ※ 財政力指数・・・「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す
- ※ 経常収支比率・・・おおむね70%から80%が標準とされている。
- ※ 公債比率・・・高いほど自由に使える財源がせばまる。おおむね10%程度
- ※ 起債制限比率・・・過去3年平均で20%以上になると起債が一部制限される。

- 1 補助金の支出に当たっては、町が補助すべきもの、団体みずから行うべきもの等、明確な区分により、補助基準を見直すなどさらに補助金の適正化を図る必要がある。
- 2 不用額については、常に業務の執行状況、さらには決算見込みを適格に把握して予算編成及び予算補正を適切に行われたい。
- 3 本年度の公債比率は、前年度を下回っているが、将来に債務を残すものであり、起債に当たっては、安易な財源不足の対応策とするのではなく、将来の財政運営に及ぼす影響を十分考慮し、今後とも公債費負担の軽減に努められたい。

決算委員会での主な 質疑・答弁

決算審議は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとに所管分の審査を行いました。委員会での質疑、答弁等の主なものは次の通りです。

総務常任委員会

総務常任委員会は、会期中の9月9日に委員会を開催し、平成20年度一般会計決算の所管分について審査しました。

質 物品売払収入の売却方法について。

答 公売で行っている。

質 投票所が減ったことにより、どのくらい経費が削減されているのか。

答 再編後、最初の参議院議



員選挙では、350万円程度削減されている。

質 非常備消防費、需用費の作業着購入は、何人分か。

答 新入団員30名分である。

質 消防施設費、工事請負費の内容について。

答 新設工事871万5千円、

修繕工事651千円である。

質 県防災ヘリコプター負担金を支払っているが、町で、出動要請したことはあるのか。

答 現時点で、要請したことはない。

質 常北保健センター

一前駐車場工事の延面積、予定価格、入札方法について。

答 舗装面積1,990㎡、予定価格862万円、入札は、町内舗装Bの業者5社を指名して実施。

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会は、会期中の9月10日に委員会を開催し、平成20年度一般会計決算の所管分、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計の決算について審査しました。

質 老人福祉費負担金の請求漏れの原因は。

答 20年度、21年度と重なる



期間で、6施設の請求漏れがあった。現在お詫びし、請求をし、収まりつつある。

質 犬の未登録が多発していると聞くが、担当課としての現状把握はしているか。

答 一部住民からの通報を受けており、多くなる傾向にある。動物指導センターの協力を受け、指導していきたい。

質 老人保護措置事業（健康福祉課担当）と介護保険事業（保険課担当）の違いは。

答 身寄りの無い方や相続人がいない等の場合、健康福祉課と保険課で協議し、強制的に入所させることができるものが、老人保護措置事業で全額公費負担である。

質 診療所の診療収入の減の内訳は。

答 七会医科が、1日平均39人、七会歯科が、1日平均20人、沢山歯科が、1日平均25人で、

産業建設常任委員会

前年度に比べて七会医科・歯科ともに減少し、若干沢山歯科が増えている。

質 七会診療所の年間警備委託料は、どのくらいか。

答 無人警備委託で、約40万円。電話は、診療時間以外は、テレホンサービスに切り替わる。

質 医療機器の再リースの方法は、一般事務機器と違うリースの方法なのか。

答 一般と同じリース方法で、再リースの際には、価格の交渉を絶えず行っている。

質 介護予防特定高齢者施策事業と介護予防一般高齢者施策事業の違いは。

答 特定は、介護になる寸前の方を予防しようとする事業で、一般は、65歳以上の高齢者すべてを対象とし、元気な方を介護にならないようにしようとする施策である。

産業建設常任委員会は、会期中の9月11日に委員会を開催し、平成20年度一般会計決算の所管分、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、簡易水道事業特別会計及び水道事業会計の決算について審査しました。

質 住宅使用料の未納額に対する収納対策はについて。

答 督促状・催告状の通知発送、呼び出し納付指導、連帯保証人に対して完納依頼電話での督促、訪問による徴収等を行っている。

質 前年度より未収額が増えているので、何らかの新しい収納対策が必要ではないか。

答 今後、検討していきたい。

質 県営ふるさと農道緊急整備事業中止の理由、場所について。

答 事業箇所において、土地の所有をめぐって紛糾しているので中止になった。場所は北方地区である。

質 グリーンツーリズム事業は、多くの参加者が見込めるような事業を実施していただきたい。

答 今後、努力していきたい。

質 河川総務費工事請負費の内容について。

答 南行川の護岸補修工事である。

質 河川総務費、工事請負費20万円減額の理由について。

答 入札差金である。

質 河川総務費、賃金の内容について。

答 河川に対して、一般の方

が簡易工事をした時に支払う賃金である。

質 河川総務費、賃金は19年度・20年度支出されていない。支出がなくても毎年予算計上すべきなのか。

答 今後、検討させていただきたい。

質 公園費、役務費の内容について。

答 公園のし尿処理手数料である。

質 下水道整備事業費の繰越明許費分8ヶ所の繰越の理由について。

答 補助事業については、入札差金があった時に工事を延ばして、補助金を返還しないように年度内事業として行うという考えで実施している。そうすると、若干、工期が延長になる。

質 農業集落排水使用料を57万円減額している理由について。

答 加入人数の減に

よるものが主である。

質 収入未済額が前年度に比べて23%増えている。改善策を考えてもらいたい。

答 今後、検討していきたい。

質 塩子地区予備水源井戸撤去工事の場所について。

答 塩子地内、県道水戸茂木線から町道こび山線に入って塩子川の下流のところである。

質 水道施設管理費、工事請負費が当初予算より59%増額されている工事の内容について。

答 消火栓の移設工事が主なものである。

質 水道料金統一は、いつ頃から実施する予定なのか。

答 できれば22年度から実施したいと思っている。



今回8人が質問し、
その要約を掲載しました。

小林 宏 議員 …… 10P

- ・ ホールの湯について
- ・ 野外活動センターについて

三村 由利子 議員 …… 11P

- ・ 老人福祉事業について
- ・ ホールの湯運行バスについて

寺門 博志 議員 …… 12P

- ・ 少子化対策について
- ・ 地域活性化について

桐原 健一 議員 …… 13P

- ・ 女性特有のがん検診推進事業について
- ・ 不妊治療の助成について
- ・ バイオマスタウンについて
- ・ 高齢者宅用火災警報器について

阿久津 則男 議員 …… 14P

- ・ 城里町パブリックコメントについて
- ・ 陸上自衛隊七会訓練施設について

玉川 台俊 議員 …… 15P

- ・ 保健行政に関して
- ・ 妊産婦医療福祉に関して
- ・ 上古内多目的グラウンドについて

関 誠一郎 議員 …… 16P

- ・ 小学校再編について
- ・ 地元商店の活性化について
- ・ 防犯灯について
- ・ 町民運動会について
- ・ 墓地計画について

南條 治 議員 …… 17P

- ・ 町の財産について
- ・ 国の経済危機に伴う交付金活用について

一般質問



ホロルの湯について



小林 宏 議員

Q ホロルの湯は、平成14年6月オープン以来、今日まで毎年大幅な赤字経営の連続である。地方自治法が改正されたことに伴い、一般公募で(株)サシアメニティが、平成18年4月から5年契約で業務委託したが、大幅な赤字経営のため、平成20年

9月中途解約、その後、再び町開発公社が受託して今日に至っているが、特に今期は利用者増対策に町民半額利用券を配布しても、4月から8月までの5ヶ月間で、対前年度比16、707人と激減している。今期の委託料4千万円では最悪な状態になる事が予測される。町財政上大きな問題であり、一刻も早く、公募選考し、民間企業へ業務委託しては。

A ホロルの湯の指定管理者については、本年度の利用状況を踏まえ、検討する。指定管理者のあり方は、大変重要で、十分に時間をかけて検討する。

野外活動センターについて



Q 財政が非常に厳しい折、改革や合理化は出来ることから迅速に行う必要があると思います、現在3施設ある野外活動センターを1施設に統廃合してはどうか。

A 3施設とも老朽化が進んでおり維持管理に相当の費用がかかる。近い将来、統廃合は避けて通れない問題と認識している。

老人福祉事業について

Q 緊急通報装置設置事業の見直しはできないか。65歳以上の独居老人を対象、基準にしているが、介護や障害に悩む人達の方が一の緊急時不安解消をする為、設置対象者の基準を拡大することに対するの町長の考えは。

A 県内市町村の事例を調査し、研究する。

Q 通報装置は貸与事業であるが、1台の設置費



用は。

A 使える物は、回収し、次の申請者にリース。1

台の設置費用は、6万6千円。

Q 設置対象者の拡大を担当課申請窓口の職員に周知しておくべきでは。

A 職員にもその旨よく話します。



三村 由利子 議員

ホロルの湯 運行バスについて

Q バス運行を再開して

ホロルの湯の集客数の増をどの程度見込んでいますか。

A 今回は求職者を雇い安定的雇用機会を創出する事業である。

Q コースの設定はどのような検討・協議したのか。

A 時間が長すぎるが、今回は運転手の雇用再生

事業がメインである。

Q 運行中止に至った過去の反省点をどう考慮したのか。

A 停留所の間隔・距離

を考えたが、利用状況を考えて今後検討していく。

Q 利用者の立場にたつてのバスの運行は考えられないか。

A 利用状況をみてから。

Q 山ゆり荘のコースがないのはなぜか。

A 山ゆり荘利用者が10人以上いる時は、別のバ

スを運行しているから。

Q バス運行再開によるホロルの湯の効果はどの程度か。

A 1日10人、月250

人をみている。

Q バス利用者の安心・安全の為に車内に乗務員はいるのか。

A 運転手のみである。

Q バスの運賃は有料か無料か。

A 無料。



少子化対策について



Q 現在子の対策は、住民に有効活用されている



寺門博志 議員

のか。また、今後の対策として、どのような考えがあるのか。

A 次世代育成事業として、出生祝い金、3人目以降の乳児に対し10万円、子育て支援金として3人目以降の乳幼児が3歳と6歳に達したときにおの

おの10万円を支給している。今後の対策としては、昨年に引き続き、子育て応援特別手当事業を実施する。この事業については、1人当たり3万6千円を、平成21年度において小学校就学前3年間に属する子で、今年度は第一子からの該当となっている。それから、幼稚園保育園児保護者負担費用軽減第3子以降の保育料の無料化等、これからの財政状況を考慮しながら検討していく。

地域活性化について

Q 商工業者に対する支援策等を考えているのか。

A 商工会との連携のもとに、商工業経営に對する

各種の経営指導や人材育成の充実することにより、意識の啓発や経営の近代化、サービス向上を促進するとともに、各種

融資制度の利用促進による経営の支援を行いたいと考えている。

Q 商店街に対し、どのような支援策を考えているのか。

A 地域商店街活性化法が本年8月1日から施行されたところであるが、



本年度は商工会において事業実施計画をしております。中小商業活力向上事業、商店街の空き店舗対策のエコチャレンジ・ショップ実施事業という取り組みも支援していく。



桐原 健一 議員

女性特有のがん検診 推進事業について

Q 国のがん対策推進基本計画では、5年以内に

乳がんなどの検診受診率を50%以上に引上げる目標を掲げているが、本町において、乳がん、子宮頸がんの受診率は何%か。

A 乳がん検診が16.9%、子宮頸がん検診が18.1%である。

Q 乳がんと子宮頸がんの無料検診クーポン券と

検診手帳は配布されているか。

A 本定例議会に補正予算案を上程し、議決をいただき次第、該当者に配布し受診率の向上に努める。

不妊治療の 助成について

Q 次世代育成支援の環境として、医療保険が適

用されず、高額な医療費がかかる不妊治療を助成できないか。

A 県内では、9つの市

町村で不妊治療助成制度事業を実施しているが、

城里町にはこの制度はないが、今後少子化対策として前向きに検討していく。

バイオマスタウン について

※ バイオマスタウン構想とは
堆肥・家畜排せつ物・食品廃棄物等をエネルギーに変換させ、その蓄積したエネルギーを施設内、施設間で融通する地域のこと

Q バイオマス資源を発電や、バイオエタノール

バイオディーゼル燃料、バイオプラスチック、堆肥、飼料などに変換すること

で、地域のエネルギー需要を補うだけでなく、新たな産業にもつながるバイオマスタウン構想に取り組む考えはあるか。

A 先進市町村を初めとする地域の動向を調査しながら、環境問題や循環型社会を考え、検討していく。

Q 県内でバイオマス構想を実施している自治体はあるか。

A 本県では、牛久市、常陸大宮市の2市で今年度は、土浦市が予定している。

高齢者宅用火災 警報器について

Q 高齢者や障害者などが、火災から逃げおくれないように、火災警報器設置の促進を図るべきと思うが。

A 県内数市町村において実施しているが、既存の住宅への火災警報器の設置義務が、平成23年6月1日からであるので、今後補助の是非を含めて検討していく。

城里町パブリック コメントについて

※パブリックコメントとは。

町が政策に関する計画や条例を作成するとき内容を町民に公表し、意見等を募集し寄せられた意見等に対する町の考え方も公表していく手続き



阿久津 則男 議員

Q 平成20年4月にこの制度が施行されたが、現在までの状況は。

A 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の意見募集を行い、募集した結果を踏まえて計画の最終決定をし公表した。

Q 今後の計画案作成は、
A 食育推進計画、次世代育成支援行動計画、一般廃棄物処理基本計画、

集中改革プラン、第一次城里町総合計画後期計画などを考えている。

Q 住民が興味をもつテーマ（例えば町内のキャンプ場・小学校廃校跡地利用等に対する意見）を募集できないか。

A 内容をわかりやすく解説した資料を事前に広報紙やホームページ等で公表し住民の行政への参加の機会を確保したい。

陸上自衛隊七会訓練施設について



Q 訓練に使用している火薬の量は、1回に最大どのくらいか。又、1日最大どのくらい使用するのか。

A 1回に使用するのは、3kg〜4kgを目安として最大7kg、1日の使用回数は7回と規定しているので、最大火薬使用量は49kg。

Q 爆破訓練によって住民からの苦情内容とその

対策は。

A 騒音、振動の苦情があり本年度国予算で被害調査の実測を行なう。

Q 訓練中に突発的な事故等が発生した場合に町に対しての連絡網はどのようなになっているのか。

A 「住民の生命財産、身体等に危害を及ぼしたときに通知する」と規定されている。しかし、

昨年8月29日、施設内での事故の報告が遅れたことについては、事の重大性から陸上自衛隊勝田施設学校と協議し、「住民の生命、財産に直接関係ない事故、災害

等にも町に対し、速やかに連絡する」ことになった。

Q 七会訓練施設のある県道笠間大子線（通称緒川線）の塩子から相川までの拡幅工事計画はあるのか。

A 整備計画はないが、国交省関係の予算を活用し整備を要望していく。





玉川 台俊 議員

保健行政に関して

Q 高齢者のワクチン接種には町の助成制度がある、インフルエンザ感染の拡大防止には子供たちへのワクチン接種が有効であるが子供のワクチン接種に助成を行う考えはないか。

A よく検討していく。



Q 狂犬病は感染すると確実に死に至る病気で、

ワクチンの接種が義務付けられているが、近年接種率が低いと聞く、町の現状と対応を聞く。

A 登録件数に対し昨年度接種率70%、今年度は8月末で63%。狂犬病予

妊産婦医療福祉に関して

Q 7月から妊産婦医療福祉が県の財政問題から適用が限定され、福祉の後退となつてしまったが、

県内の24市町村では単独事業を展開し妊産婦医療福祉を以前同様に維持している。当町でも改正前の水準を少子化対策の一環として制度の復活を行

う考えはないか。

A 22年度予算編成時に検討していく。



防法で登録並びしていない

犬について20

万円以下の罰

金に処される

ことから、飼

い主への直接

通知や広報紙、

広報無線で周

知する。

上古内多目的グラウンドについて



Q 全面芝のグラウンドでサッカー

に適しているが利用者から思うように使用できないと聞くが。

Q 財務規則では50万

以下であれば随意契約が出来るが2百万を2社の見積もり随意契約できるのはどの様な根拠に基づいてのことか。

A 他の請負業者にくら

べ設計単価から見ると金額が著しく安価で委託が可能であり、林業振興団体の育成、支援から随意契約とした。

※随意契約とは

物品の売買や貸借、工事などの請負の契約に際し、入札やせりのような競争によらず、契約主体が適当と判断した相手方との間で契約を結ぶことをいう。

をお願いすれば3分の1程度で管理でき経費削減になると思うが。

A 芝刈りに加え周辺を含めた除草と産廃処理の維持管理は困難と思うが、今後、地域住民や競技団体との協議を考えていく。



関 誠一郎 議員

小学校再編について



Q 小学校再編実施計画書は決定なのか。
A 今後各PTAや、地区住民に説明し、理解を得たい。

Q 平成25年になると岩船小学校1校で対応できるので桂地区の再編は時期尚早では。
A 議会で理解頂いたので平成23年に町全体で行いたい。(議会では報告のみ)
Q 各学区で説明会を行った結果、住民の意見は取り入れたのか。
A 取り入れた。

地元商店の活性化について



Q 小規模工事請負(30万以下)を50万以下に増額しては。

A これまで同様執行していく。

町民運動会について

Q 町民のアンケートを無視しているのでは。
A 次年度から意見交換

しながら相互理解を深めたい。

墓地計画について

Q 借入金(総額10億)で残金はいつ完済するのか。
A 9月末で完済する。
Q 跡地の利用計画はあるか、再度墓地として計画はあるか。
A 墓地として計画はしない。

防犯灯について

Q 経済危機対策交付金3億9千万円で子供達の通学環境づくりに通学路に面している住宅にセンサーライトを付けては。
A 現在の防犯灯で対応する。

町の財産について



南條 治 議員

Q 国の進める地方公開会計制度改革により、行政コスト計算書・資金収支決算書・総資産変動計算書・貸貸表などを作成することが、義務づけられているのですべての資産について伺う。(資産価値)

A 資産価値については、改めて評価しなければ困難な状況。今後財政健全化に向けて把握できるよう制度改革のつと町

Q 国の進める地方公開会計制度改革により、行政コスト計算書・資金収支決算書・総資産変動計算書・貸貸表などを作成することが、義務づけられているのですべての資産について伺う。(資産価値)

A 平成21年8月末日現在、出資金は城里町開発公社他22団体に総額88万4千円。貸付金は(株)常北物産センターに対し千5百万円。積立金は各基金の運用益及び場外車券場交付金を基金へ積み立て適正な管理運用に努めている。

Q 町所有の総資産を知らせることも財政を管理する「長」として必要と思うが、町長の考えは。

A 行政の透明性確保・

情報開示の観点から財務情報を町ホームページでの公表とあわせ開示できるように努める。

国の経済危機に伴う 交付金活用について



Q 当町の利用計画は、交付金財源内訳の納期と整理・補助金推進事業・補助金町実施分について事業内容を伺う。

A 教育・農業・環境・医療等通常は事業費全額を町の持ち出しで行わなければならない維持管理

事業等を中心に交付金を活用して実施することとした。土地改良事業実施分、常北改良区7件事業費2,928万円。常北東部改良区1件925万円。桂改良区9件3,997万円。

Q 生活道路に対しての利用は考えているのか伺う。

A 必要性の高い町道の修繕舗装補修などに活用し、町道の利便性と安全性の向上及び町内経済の活性化に寄与したい。旧茨城鉄道敷跡、他、町道10路線事業費として約1億9,6百万円を予定。

研修報告 議会運営委員会

群馬県昭和村議会を研修



去る7月23日、議会活性化の取り組み状況を調査するため、昭和村の議会活性化への取り組みについて研修してまいりました。

取り組み状況

① 村民との交流

村内で開催される各種イベント等に積極的に参加し、交流を深めながら、意見交換等を行うなど、親しみやすく開かれた議会活動を行っている。



② 住民に見える議会

議会広報紙を年4回発行し、活動状況を正確に伝え、多くの人に読まれる広報づくりを目指し、住民参加の企画や写真等を多用し、親しみやすい広報紙の発行している。

③ 中学生による模擬議会の開催

議法定例会等の仕組みを理解し、関心を高めるため、平成17年度より中学生による模擬議会を開催し、次世代を担う後継者の育成に努めている。



昭和村の概要

- 人口 7,783人
- 世帯数 2,268世帯
- 面積 64.17km²
- 議員定数 12名
- 委員会 2常任委員会
議会運営委員会
昭和村総合開発対策特別委員会
村づくり対策特別委員会
昭和村議会広報編集特別委員会



昭和村議会は、「たくましく、やさしい村」を目指し、村民の意思が、村政に反映される行政が行われるようにと、常に村民の立場に立って議案等の審議に当たっており、今後の城里町の議会運営に大いに参考となる研修でありました。今後の城里町の議会運営にも十分活用し、開かれた議会づくりと議会の活性化に努力してまいりたいと思います。



■ 会社概要 ■

【会社名】 (有)安曇野三郷
ハイテクファーム

【所在地】 〒399-8101
長野県安曇野市三郷明盛1064-1

【業務内容】
清浄野菜(無農薬)の生産販売
信州安曇野産野菜及び加工品の販売

【創業年月日】 平成10年6月17日

【資本金】 500万円

【従業員数】 10名

去る7月30日、農業従事者の高齢化、農産物価格の低迷等農業を取り巻く状況の厳しい中、先端技術を生かした施設で、消費者が求めている安全安心な野菜栽培に取り組んでいる会社を視察してまいりました。

研修報告 産業建設常任委員会

長野県安曇野市 (有)安曇野ハイテクファームを視察




残留農薬問題に気をもんでいた、この会社の代表の方が、安全安心な野菜をつくりたいということで、平成11年、農業生産体制強化総合対策事業により、植物工場を建設しました。

この工場は、面積が、837.33㎡で、完全制御型のため、一定量、一定品質の野菜の連続生産が可能で、空気中の二酸化炭素を必要分だけ、自由に吸収できることから、生育が均一で、約1ヶ月で収穫できます。

噴霧耕による立体水耕栽培装置で、人工光を使い、日照時間や天候に左右されず、サラダ菜、リーフレタス、わさび菜などの10種類の野菜を生産しています。

また、工場で生産される野菜は、完全無農薬であり、日持ちが良く、各作業に衛生管理手法を取り入れて、細菌数を低レベルに抑えられているため、外葉までほぼ使い切ることができ、安定生産により価格の変動がないということなのです。

施設等の建設費に莫大な金額がかかり、生産品目が少ないなど、課題も多いが、新しい農業形態として国においても建設費の半分を補助する制度等を導入し、普及拡大に力を入れていきます。

今回の研修を終えて、新しい農業形態として、また農業活性化の起点となれば、農業の雇用の拡大、消費者が求めている安全安心なものを生産できるのではないかと思われました。本町の農業振興を図る上で大いに参考となる研修でありました。



議会の動向(7月～9月)

9月										8月					7月											
30日	29日	28日	25日	11日	10日	9日	8日	4日	1日	31日	27日	26日	25日	24日	11日	10日	30日	27日	23日	17日	16日	15日	10日	6日	2日	1日
議会運営委員会 市町村長・市町村議会議長会議 議会全員協議会 第3回議会定例会(～18日) 決算特別委員会(総務) 決算特別委員会(教育民生) 決算特別委員会(産業建設) 農業委員会定期総会 農業振興地域整備促進協議会 総務常任委員会視察研修(～30日) 水道事業運営審議会										第5回町民運動会実行委員会 笠間地方広域事務組合視察研修 教育民生常任委員会協議会 議会運営委員会協議会 農業委員会定期総会 国民健康保険運営協議会 城北地方広域事務組合定例会 水道事業運営審議会					茂木高等学校後援会理事総会 議会広報委員会視察研修(～3日) 国道123号線改修期成同盟会総会 議会広報委員会 社会教育委員研修 町村議会議長会臨時会 議会広報委員会 議会運営委員会視察研修(～24日) 農業委員会定期総会 畷道城里那珂線整備促進協議会総会 産業建設常任委員会視察研修(～31日)											

議会を傍聴してみましよう

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。どんな計画があってどのように進んでいるのだろうか。みなさんに身近なことです。

どなたでも傍聴できますので、ぜひ一度議会の傍聴にお出かけください。



傍聴席



議場

次回の定例会は12月の予定です。

(手続きは本庁舎2階総務課で
住所・氏名を明記するだけです。)

日程など詳しいことは議会事務局へ

TEL.029-288-3111

(内線 301)

表紙によせて

ボランティアグループどんぐりは、昭和60年5月1日から常北町公民館の町婦人学級として発足しました。ボランティア・レクリエーションなどで、活動してきました。4年前からシルバリーハビリ体操を取り入れてコミュニケーションが盛んな毎週火曜日、楽しくすごしています。

「みんなますます元気でーす。」

編集後記

稔りの秋、収穫の秋、スポーツの秋、食欲の秋。行楽の秋と、しだいに秋色が濃くなって参りました。

歴史的な政権交代の時を迎え、先が見えない現状に、国も地方も戸惑いを感じられる昨今でございます。世界同時不況のもと、景気の問題・雇用の問題等課題は集積しており、一日も早い元気な日本、明るい街づくりの到来を願わずにはいられない心境でございます。

過日、敬老の日を迎え、町内には百歳以上の人が7名も居住していることに、長寿の現実を改めて認識し、同時にとても明るい気分になりました。次々と台風が日本列島に近づいており、その進路から目が離せない状況に、被害のないことを祈りつつ後記といたします。

議会広報委員会

- 委員長 三村 由利子
- 副委員長 河原井 大介
- 委員 南 條 治
- 委員 玉川 台 俊
- 委員 阿久津 誠一郎

三村 由利子記